

バストス週報

第1050号
昭和四五年
六月十五日行
Director Koiti Mori
Redactor Shion Oda
Rua Pres. Vargas 188
C.Post.112
Fone 400
Bastos. C. P.
Anual CR. 18.00
Adian

霹靂

24

勳章様

○ 勳章をもらうこと

国家が功績ある人を表賞する方法に叙勲がある。日本だと勳位階等があり、それに応じて勳章がちがつてくる。文化勳章は大学の教授、作家、演劇関係、医师、芸能、と、各方面から毎年七、八十人選抜されて授彰され^る。一般政治家、海外使臣、公益、教育、経済面の人々に下賜され、海外居住者にも毎年数名叙勲の機会がある。

ブラジル移住者にもこれまで二十数名の勳章受賞者がいた。日本政府から勳章をもらうことは容易ならぬ仕儀で、主として総領事館の推薦によるものである。バストスでは故畠中仙次郎氏が勳五等、瑞宝章を下賜されている。

○ 勳章の次は木盆

移住五十年祭の時、日本政府は、藤山愛一郎外務大臣の名で一千名に木盆を贈与している。五百名宛に二回にわけて発表されたが、始めの五百名の時が大変だった。コロニアの各団体がこの人々と推薦する方式だつたので、中には隨時勝手な名前の推薦団体をデツチ上げ、総領事館に圧力をかけたなどという訪もある位で、まさかと思うが、何しろ海外に出て数十年嘗々と築き上げた地位と経済力であつて見れば、その上に欲しいものは勳章である。クンショウがムリとあうば、せめて表章状だけでもと思つていていた第一回発表があまりにもボリチコ的だといふので、人選評判がよくなかった。主として総領事館を中心で調査したものうしく、かくれた名もない一市民の名が多かった。

○ ブラジルの勳章

ブラジルにも日本の彰勲局の様な役所があり、ブラジル地理学協会の外、政府直轄の役所もあるが、普通民間へ下賜されるのは、前記地地理学協会のコート、マガリヤンエス章と、ロンドン章が多く

毎度ありがとうございます。

御宿泊と御食事には当店で

御宴会と御会食にお仕出し

日本料理、ブラジル料理

シネマのお帰りに際もの

御家族づれの

御食事に



等級的に上下の差はないという。授章の手続きは、主として団体または役所の推薦により当人の履歴、功績を文書にして提出すると、推薦者の信用によつて許可されるものらしい。

被推薦者は公益、文化、産業、農業の各層でコロニアを通じて、ブラジル国家手続きは、主として団体または役所の推薦により当人の履歴、功績を文書にして提出すると、推薦者の信用によつて許可されるものらしい。

各層でコロニアを通じて、ブラジル国家手続きは、主として団体または役所の推薦により当人の履歴、功績を文書にして提出すると、推薦者の信用によつて許可されるものらしい。

ブラジル全体では年に数百人の受章者がいるだろうが、コロニアにもここ数年大分數がふえていく。しかしバストス位比較的多いところは珍らしく、二十数名を数えることができる。パウリスタ線各地区でも一市に二、三名にすぎず、中には一名もないところすらある。これはその地方に、その方面に於ける推薦者の実力に欠けているためではなかろうか。バストスだけに受章の対照となる人物が漸々いて、他地方に実力者がいないというわけはあるまい。

今から四五年前までは、バストスも少なかつた。故畠中、故小沢、水馬、谷口信太、西氏等であつたが、四十年祭前後から、急速に増え、今日では二十数名

恩義に感ずる

来る六月十八日は

おしゃらせ

銀行は金を貸す公の機關。借りた金はちゃんと利子をつけて返してある。その時オブリガードといつた筈、それでもとくされはない。又實際との通りである。が、日本人的な考え方からすると、因つた賃金を融通してもらい、不況がつづいて、ベンセが来ても返済ができない。進退谷まつた時、長期据置分帶拂いにしてもらつて助つた時など、返せば、それで、え、ではないか、とだけではすまない人間味を持ち合せている。

どういふのはのとした温かい、人情味豊かな話がある。

元、トッパンのブラシル銀行支店長、エルメス、ゴーメス、バルボーザ氏の助力に感謝する会が、去る六月六日に、レカント、ナウチツコ、パトリヘカルト、ブで開かれた。定刻は十一時であったが、主賓夫妻の都合で少しおくれ、出席者百余名はメーザに着いて拍手で迎えた。司会は西敏氏、早速小林平行氏に指命した。

IM流通税公布の場、飼料高、鷄卵

移民の日

ですから慣例に

により、

六月十八日(木)午前七時半
イグレージャ、バストスに於て
ミサを執行いたします

御縁合せ

御参詣下さるよう御もうせいた
します。

バストス日伯文化協会

バストス在住各位

テレビジョン・ル各種
ステレオ電気蓄音機各種

ラジオ、ピアノ、金庫、タイ、ブライタ
扇風機、ワインチラードール、ラジオ、トランジスタ
冷蔵庫(ジエラディラ)洗濯機(マキナ、デラバロッバ)
その外なんでもあります。

各種家庭用電気器具類一切

ガルサ市、ルア、エイトロ、ベンテアード

本店 八卷兄弟商会

ガルサ電話 ヒヒ三番 郵函二七九番

御注文はバストス市、ヅツキデカシヤス街角

代理人 宇佐美宗一

電話 店一四六番、宅一二五番

Eletro Radio Oriente

安に悩まされていた。養鶏家は不況のど
ん底で、ヒト転入例の苦しみであった。そ
こえ I C M の追打ちであろう。このバニッ
クに対し、エルメス氏も心を痛め、本店
に具申して、農家の窮状を訴え、長期借
置の分賃払いの方法をとつてくれた。
此の特別なる措置によつて窮屈を救わ
れ、破産に瀕していた養鶏家は再び繁栄
を取りもどすことができたのであつた。
そのとき御世話になつた養鶏家の諸氏は
、アルバムにそれぞれ署名をして感謝の
意を表したというのである。

別に夫人には首飾り、エルメス氏には
を記念として贈呈した。函山中安
彦氏は市会を代表して副市長信太茂氏は
市長の代り、それぞれ一場の挨拶をした。
次に普通なら、主賓に答辞をとるが、
これであるが、エルメス氏は旧知の水馬
久氏を見付け、丁寧な御悔みを述べたの
ち、御来場の諸氏に、水馬家の不幸（三
男法男氏の交通事故死）に対する一分間
の黙祷を捧げようではないかと提案し、
一同起立、法男君の冥福を祈った。水馬
氏感激のあまり、涙に頬をぬらしつつ、
感謝の言葉を述べた。

これは、予定に組んでないことだった
が、エルメス氏の提案は、氏の人情味の

深さを覗くような感激の場面だつた。エルメル氏も涙もろい人で、自分では何ちいわす、アドルフ氏が代つて、銀行の立場を述べた。銀行というものは、特定の人々のためのものではなく、人類の福祉と裨益のためにあるもので、自分たちは平等公平な仕事を進めていきたい」という。

その外、井上源次郎へバストス養鶏会代表、マルシオ氏、モアシル氏、豊島喜市氏等のテーブル・スピーチがあり、最後に余興として、鶴秀雄夫人の独唱があり、満場拍手、和氣藪々の裡に三時半散会。

何でもない話という勿れ、きいていて
陰に痉挛を起させなかつたら、非情な
御仁であろう。

◎ 訂正廣告

六月七日付週報掲載、谷口家の死亡
広告中、誤植がありましたので、御
詫原々訂正いたします。

週報社

火酒酌めば能面笑うおでん酒
太鼓打つ如き海鳴り冬ぬくし

• 4

市場附近は、いつも車の通行も、人の出入りも多い処だから、不用意に飛び出さないよう注意したいものと、目撃者たちの話。

自動車に跳ねられる

本田鮮魚店
へおしらせ下さい 電話二六四

御届けいたします

まぐろ・いか
たこ・えび・ボラ・鰯・
かまぼこ・ちくわ

多少に拘らず
毎日
新鮮な
いろいろ
ペーパー

鮮

卷八

死亡通知並に会葬御禮

父、古賀繁雄（七十二歳）儀永らく病氣療養中のところ薬石の効なく去六月五日午前十二時二十分に永眠いたし、翌六日午后四時自宅出棺バストス墓地に埋葬致しました。茲に生前御厚誼を賜りました皆様に謹んで御通知申上げます。

尚葬儀に際しましては御多忙中わざわざ御立葬下され、其の上過分な御香奠御供花を願き、御厚情のほど心より御礼申上げます。
実は一々参上の上御礼申上げるべきところ、取込中心ならずも勝手乍ら紙上をもつて厚く御礼申上げます。

一九七十年六月九日

表主
長男
古

次男 古 賀 純 妻
夫 三男 古

妻枝和妻

四男
一
敏
長女

妻 とし子・夫

次女 松村シゲ子・三女

卷之三

五男古賀仁ナシホ六興
妻子妻

親戚代表 藤好次郎・友人代

孫同

アグリニア二区第一組

ケロリアアメ婦人会スミ

南八
又
伯
卜
農
產
協
草
同
組分
合會

南南
伯伯
八八
スズ
トト
スス
出单
荷
組組

福岡県立男女青年会

教人樂

ハントス・トス・トニ・テクニ・コ・ヒー、
サハ・ンジ・ヨビ・ツ・テクニ・コ・ヒー、
ス・トス・トニ・テクニ・コ・ヒー、
人・年・一・婦・生・会

立人中學三年生顧全組

バササ
ンジン
ヨビジ
ー
テクニ
コ
学
三
年
位生会

わかりやすい仏教の話 第五回

瀨
辺
瀬

先月の花まつりからのお話として、先週は、お祝いさまで、お生れになつて、ヒ歩はあるきになり、そのまま立どまつて「天上天下唯我独尊」と、世界にむかつて宣言せられました。その「唯我独尊」、ただ我独り尊しの我ということは、俺が、わたしがという小さな我ではなく、大我であるということを申し、その大我的説明として、昔の日本の人々は、先祖の位牌を汚すなど教えたことも、大我的考え方の一であるというお話を申し上げました。つまり先祖の位牌を汚すなどということは、我々は、先祖あつての自分、先祖の御蔭によつて生かされている自分だということを忘れるなという」とあります。もう一つ言葉を代えて申しますならば、先祖一族家門を代表して生きておる自分であることを、いつも忘れないで生きて行けと教えるのです。

この言葉は、簡単な日本人ならばよく使う言葉でありますけれども、仏教思想を端的に表わしているものの一つであります。私たちが、小さな俺が、わたしがという思いにひたつて、いる限り、所謂個人主義の欲望のままの生活をしますならば、個人主義の欲望のとりことなつて勝手我儘の日暮しをし、周囲の迷惑をも慮ることなく、それが増長して行つたならば大それたことをも、し兼ねないことともなるのであります。それが一族の代表者だ、先祖のお蔭を一身に集めているものだという、少くとも、小我を一步超えた、自覚した心で、日々暮して行きますならば、「こと話す言葉にも注意をして、人の迷惑のなうないようにお話すこととなり、人から不当の恥しめを受けても、ぐつとおさえ、我慢する。世のために人のために尽す」とでも、他人様にひけを取らない様に努力するという」ととなるのであります。これ、小我を捨てて大我に生きるものであります。

最近、戦前に渡伯せられた方々から承わることであります。二世、三世を含めて、以前の日本人には、今、新聞記事をじぎわしている様な、愚痴な犯罪を犯すものはなかつたといふことであります。ここにも考え方されるものがないでしようか。個人主義は、いよいよ甚しくなればなるほど、我慾の追求が盛んになって、こういう傾向に拍車をかけはしないだろうかと思うことがあります。

このラジオを聞いていて下さる方々も、同じ様に考えて下さる方もあると思いますが、どうか私たちが御先祖から受けついで参りました立派なこの考え方を本当に正しく、清く世の中を生きて行く道を持つてゐるのでありますから、ブランクで生れ、ブランクで育つ

「この言葉は、簡単な日本人ならばよく使う言葉でありますけれども、仏教思想を端的に表わしているものの一つであります。私たちが、小さな俺が、わたしがという思いにひたつて、いろいろのものの一つかります。私たちが、小さな俺が、わたしがという思いにひたつて、勝手我儘の日暮しをし、周囲の迷惑をもしますならば、個人主義の欲望のとりことなく、それが増長して行つたならば大それたことをも、し兼ねないことともなるのであります。それが一族の代表者だ、先祖のお蔭を一身に集めているものだという、少くとも、小我を一步超えた、自覚した心で、日々暮して行きますならば、一こと話す言葉にも注意をして、人の迷惑のなうないようには話すこととなり、人から不當の恥しめを受けても、ぐつとおさえ、我慢する。世のため人のために尽すことでも、他人様にひけを取らない様に怒りするということとなるのであります。これ、小我を捨てて太我に生きるものであります。

最近、戦前に渡伯せられた方々から承れる
ことでありますが、二世・三世を含めて、以
前の日系人には、今、新聞記事をにぎわして
いる様な、悪質な犯罪を犯すものはなかつた
としうことであります。ここにも考え方させ
られるものがないでしようか。個人主義は、
いよいよ甚しくなればなるほど、我慾の追求
が盛んになつて、こういう傾向に拍車をかけは
しないだらうかと思うことがあります。

このラジオを聞いていて下さる方々も、同
じ様に考えて下さる方もあると思ひますが、
どうか私たちが御先祖から受けついで参りま
した立派なこの考え方を本当に正しく、清く
世の中を生きて行く道を持つてゐるのであり
ますから、ブラジルで生れ、ブラジルで育つ

子孫にも、これを遺し、子孫のためにには日々、
、莘々に先祖、家門の代表者、その後には、
数知れない血肉を分けた人々が控えておるも
のだと、ということを教えて頂けたならば、と思
うものであります。

古賀士知様
バス・トス・南米本願寺
故父上繁雄様御不幸の節香奠返しとして御寄進下さ
いました。誠にありがとうございました。
一
金封也

金一 封
御子息法男様御遷難御深悼申上げます。其の節香奠
返しとして前掲の御寄附を賜わりました。厚く御礼
申上げます。

花まつり演芸会
花の御禮

原岩織諸角橋田野光小
古沢かつ子興吉づ雄冬
バストス婦人会
高薄雄社
市川新ヒ(ア市)
島崎みきえ子
郷原みよ子
同朋婦人会
南米本願寺ラニテ
市川新ヒ(ア市)
佐々木久
加藤かず
え輔寺音雄
清家重
織田重
島崎みきえ子
郷原みよ子
同朋婦人会
南米本願寺ラニテ
市川新ヒ(ア市)
様様様様様様様様
宇都宮千未
マリア婦人会
小林小久
山根三郎
竹内義輝さ
小橋ま
渡辺千ト
白鳩
永吉ふ
田川し
竹内義輝さ
山根三郎
宇都宮千未
巴
行
バ
ス
ト
ス
仏
教
婦
人
会

前田常左衛門伝

二十二 永住を決意して土地を買う

その頃は、旧移民も新しい移民も、ブラジルで一儲けしたら、日本へ帰ろうとという考え方で渡伯した者が大半といつてよかつた。そのため、一定の土地に止どまつて、農業を継続しようとする者は少く、たいていの移民は、カフエコロノから出世して、アレンダ（借地）農に移り、契約農年が過ぎると、

「金の出来るまで、成功するまで」という合言葉で、沃土にほしいままでに温植しては他に移るという、掠奪農業をたどる者が多かつた。このため、

「日本移民の通つたあとには草も生えない」という、はなはだ不名誉な言葉を、しかし彼の考えは遠つこいた。

「子供たちの将来のために、一定の土地を求め、永住することにある。」

と言ふのが彼の持論であつた。

「もし自分に万一のことがあればこそ、子供たちに、土地と農業の素養さえ与えておけば、決して生活に苦しむことはなかろう。また、たとえ、同じ土地を長年耕やしてその土地が衰えても、日本の農業のように肥料さえ施せば、必ず生産は続けられる」

との考えがあつた。それと、彼に永住を決心させたもう一つの原因是、イツペラバの土地で、これまでに二女の悦子をはじめ、三男の常之、四男の鉄馬、五女の美喜江、六女艶子と、五人の子供を失つていたことである。

「この土地には、開拓の犠牲となつて死んでいた。自分の可愛いい子供の靈が眼つこじろ。自分はどうしてもこの土地を守つてゆく……離れるものか！」

彼の心中には、愛児へのこうした無言の誓いがあつた。このカシヨエーラの土地をわが土地として一つの観点をつくり

、将来の子孫を繁栄の基盤としようと決心したのである。そうした折柄、耕地に入つて三年目に、彼にあつらえむきの機会が訪れた。農場主のショビ・マッシャードから、この土地を譲りたいと申し入れがあつたのである。面積百二十アルケールで、価額は百ニコント五百だという。

最初、手付金五十コントを入金すれば、残金は来年の収穫後支払つてもいいと

いう条件である。条件は悪くない。五〇コントは手もとにある。渡りに舟だ！

問題は来年の収穫如何である。もし、幸にして、今年のような収穫があれば万事

仙人掌社六月作品

暖冬の庭に病身髪流けり

火酒酌めば能面笑うおこん宿

肉入れてニセ好みのおこん煮る

アリア

ばばの髪じじい染めやる冬暖し

醉う程にトシコぐでおこん食う

丸女

秋さぶや牛一頭も居らぬ牧

米子

風呂の下焚きつけて置き密相むく

系音

三人目産めば終りと密相吸う

秋嶺

音立てて湧水清し秋深し

鶴飼うて蜜柑を植えて永住す

冬ぬくし靴磨かせバスを待つ

冬々くし山に抱かれし一軒家

秋深し街路黄昏五時点燈

ポンカンの商談一気に五十箱

ミニサイマ袖無服や冬ぬくし

冬ぬくし靴磨かせバスを待つ

冬々くし山に抱かれし一軒家

秋深し街路黄昏五時点燈

ポンカンの商談一気に五十箱

ミニサイマ袖無服や冬ぬくし

仙人掌句友に

俳句研究会

来る六月廿一日（日）

夜七時半

会場　糸音居

席題で作句、

当夜は批評を主として研究する会と

いたします。

ふるつて御参加下さい。

古賀土知様

金一封

故父上繁雄香奠返しとして御寄贈下さいました。

厚く御礼申上げます。

バストス仏教婦人会

古賀土知様

解決がつく。しかし、もし不作の場合は契約を反古にしなければならない。熟考の末、彼はまた、中野氏を訪れ、事情を説明し、

「もし、不作の場合は融通して貰えまえまいが」と頼んだところ、中野氏は快諾してくれた。しかし、それも忌憂におわった。中野氏の好意にたよる必要はない、翌年も又豊作を迎えて、残金の五百二コント五百を農場主に支払つても、まだかなりの金が手元にのこつた。

こうして彼は、渡伯十四年四月（一九四一年）に、百二十アルケールのカショワーラ農場を買いとり、待望の農場主になつた。

二十三、太平洋戦争勃発す

農場主になつたその年の十二月八日、

祖國日本の運命を左右する大東亜戦争がはじまつた。中国との四年間にわたる長期戦で、国内経済も次第に急迫してきたために、日本はその窮状を打開し、長期戦に必要な資源を得るために、大東亜共同圏の建設という名目で、蘭印の経済独占を計つたり、仏印に進駐したりして、米、米、蘭と対立した。米、英との戦争を心配して、妥協を希望する一派は、日本交渉を行つて戦争を避けようとしたが、

東條内閣の成立と同時に、日本の对外政策は急に強硬となり、ついに一九四一年

十二月八日、日本海軍はハワイの真珠湾を奇襲し、米英両国に宣戦を布告したのである。歐州では、ドイツが米に宣戦を

布告し、（）に東西の戦線が合体して、世界は全体主義対民主主義の決戦に巻き込まれ、文字通り世界大戦となつた。

連合国の一員であるブラジルも、在伯日本人に対し、敵国人として、いろいろの制限や圧迫を加えるようになつた。海岸線一キロ以内に居住する日本人は、強制的立退きを命ぜられた。登録居住地以外の旅行は禁じられたまた、日本語は、敵性国の言葉として、使用は禁止された。

どうしても旅行しなければならないときは、その理由を居住地区の警察に説明して、通交許可証を貰わなければならなかつた。そればかりでなく、大戦が激しくなるにしたがつて、ブラジル官憲の日本系コロニアに対する圧迫も強くなり、各地で家宅捜査が行なれ、武器その他危険物資は、容赦なく没収された。彼は一番早く危険を感じて、武器（ピストルと猟銃）を廻置した。果して六人の騎兵隊がやつてきた、猟銃とピストルを所持していることを、力マラードの密告によつて探知してきただのである。泰然として迎えた彼は、武器を所持していないむ力を告げたが、彼らは承知しなかつた。

帰伯御挨拶

此の度び四十年振りの母國訪問を致し、七十五日間の意義有る旅行を無事に終えまして、去る六月六日、ビラコツ・ボス空港に帰着致しました。一方ならぬ御世話様になりまして、（）に厚く御礼を申し上げ、尚今后も宜しく御願い申上げます。

右帰伯御礼まで

一九七十年六月十日

長 橋 智

バストス知友の各位様

（御存知の方は國鉄社
（ ）まで々りたおじやアゼ）

TOSHIO ODAQUIRI
JULHO H. HAYASHI

SERGIO EWEIDE SATO
SERGIO USHIO MARIMOTO

GENSEI IADA
JORGE SAEKI

OSAMU YABUTA
YOSHIO SUGIMOTO

KAZUAKI ONODA
HARUKI SATO
WALTER TAKATO

MITSU
OR BAC

お で ん

○火酒酌めは能面笑うおでん宿
能面にも色々あるが、ブラジルによいものが渡つて来ていろとは思われず、ましておでん屋のことだ。エジス大黒程度のものだろう。ピンガをのみ乍ら談笑していくと、壁の能面も笑つて、いろといふ句がある。おでんという席題でこれだけ詠めあつては大した發見である。

○肉入れてニセ好みのおでん煮るマリヤ
これは家庭でおでんを作つたことでが、ソドギや油揚よりもっと濃厚なもののが子供は上うるこぶ。それをニセ好みと表現した。この句は判りやすく矣をかせいた。

おしらせ

□テリア籠ぬけ

蘭の品評会

Exposição de Orquideas

日時 六月二十六日

会場 アシス市

出品希望者は

六月二十五日の夕方までに

宮崎写真館まで御持参下さい

バストブ愛蘭会

会長 池田巖

各位

御案内

当地

バンデランテ銀行

コンタドール

ワルジール・コンサルベス・デ・ソーザ 氏が
このたびツパン、
バンデランテ銀行転任になります
ので、

送別会を

来る 六月二十日(土)七時

場所 森川食堂にて催します

会費十五銁(記念品代をふくむ)

尚同氏の知友にて出席御希望の方は
森川食堂へ御申込み下さい

おしらせ

日本外務省文化便箇

京都旧嵯峨御所華道芸術学院理事

辻井博州先生

歓迎いけばな展示会を 総合会館に於
六月十六日午後一時より、十七日正午
まで開催いたします

嵯峨未生御流伯国総司所

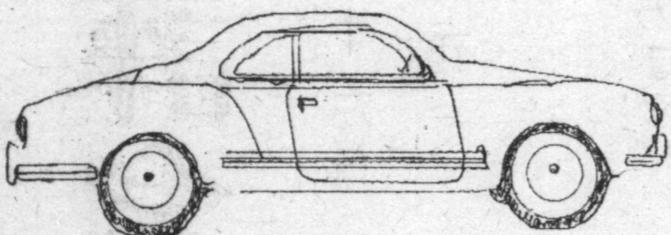
コニツン

A市から毎週バストスヘロテリアを売
にくる安東長崎君へ仮名、去る六日、
いつもの如くお華客廻わりをしていた。
サンショーンの大当りを三枚首にぶらさげ
、男前製作所で一仕業片づいたので、あ
と一ネゴシオと足を曳きながら宇佐美食
堂の前を通りかかると、まち受けていた
よう四十がらみの一外人、つかつかと
そばえ寄つて来て、サンショーンのインテ
イロがあるかという。ア、ここに三枚も
つてします。では三枚とも全部買うから
佐美に泊つている客だ、室にいる弟と相
談してくるから、二三分待つてくれ。
長崎君、いい華客だと、胸に下げてい
たインテイロ三枚とも、件の男に渡して
一千五十コントすぐ貰えるとは、今は
いい日だと、待つていただが、三分はおろ
か、五分たつても十分たつても何の手応
えがないので、一寸おかしいと感じたの
であろう、中に入つて宇佐美のセニヨラ
に、今ロツテリアを買つた客の室はどこ
かと問う。
え、そんな客は泊つていなければ?
そりやおかしい、たしかにサートラを通つ
て奥の方へ行つたよ。
宇佐美の女中が、さつき、そういえば
裏の方へ行つた人があるが、それではな
いだろうか。
いや、それに遅いなし、大急ぎで裏へ
まわつて見ると、裏門から外へ抜けたに
ちがいない、こりや大変だと長崎君青く
なつて嘆くのを見かねた宇佐美のセニヨ
ラ、早速デレガードに電話し、おそれ乍
らと訴えた。
間もなく、デレガード自身御出張、いろ
いろと訊問があつたが、何しろ時間が圣
こうにいるので、あと祭り。
それにして、宇佐美のお客を表つて
籠抜けを計画する位な奴だから、勝手知
つたる専門家に遠いない。
長崎君、親方に弁償せねばなるまいが
、ひどい籠抜けにひつかつたものであ
る。

CRUZAUTO

Oswaldo Cruz Automóveis LTDA

Conserto em oficina terão desconto de 20% sobre mão de obra Aquisições das peças terão descontos de 10%.



クルザウト自動車有限会社

オズワルド クルース市 郵函 156

修理は 20% の割引

ペッサは 10% の割引

世界の高級車 ヴォクスワーゲン

中古車を引取り新車と交換

銀行融資販売の御世話を致します

（略）

Aviso de Cine Bastos

六月十六日（火）二本立て
六月十九日（金）六時、二十一日（土）九時半
六月二十日（日）九時半、二十二日（月）八時
六月二十三日（火）二十四日（水）両夜とも八時
六月二十四日（木）九時半

監督 竹山嘉次郎
原作 正典
脚本 山本嘉次郎
音楽 滝澤喜一
撮影 松竹映画
美術 松竹
衣装 松竹
色彩 天然色
監督 竹山嘉次郎
原作 正典
脚本 山本嘉次郎
音楽 滝澤喜一
撮影 松竹映画
美術 松竹
衣装 天然色
色彩 天然色

六月十九日（金）八時、二十一日（土）九時半
六月二十日（日）九時半、二十二日（月）八時
六月二十三日（火）二十四日（水）両夜とも八時
六月二十四日（木）九時半

監督 竹山嘉次郎
原作 正典
脚本 山本嘉次郎
音楽 滝澤喜一
撮影 松竹映画
美術 松竹
衣装 天然色
色彩 天然色

六月十九日（金）八時、二十一日（土）九時半
六月二十日（日）九時半、二十二日（月）八時
六月二十三日（火）二十四日（水）両夜とも八時
六月二十四日（木）九時半

監督 竹山嘉次郎
原作 正典
脚本 山本嘉次郎
音楽 滝澤喜一
撮影 松竹映画
美術 松竹
衣装 天然色
色彩 天然色

六月十九日（金）八時、二十一日（土）九時半
六月二十日（日）九時半、二十二日（月）八時
六月二十三日（火）二十四日（水）両夜とも八時
六月二十四日（木）九時半

監督 竹山嘉次郎
原作 正典
脚本 山本嘉次郎
音楽 滝澤喜一
撮影 松竹映画
美術 松竹
衣装 天然色
色彩 天然色

六月十九日（金）八時、二十一日（土）九時半
六月二十日（日）九時半、二十二日（月）八時
六月二十三日（火）二十四日（水）両夜とも八時
六月二十四日（木）九時半

監督 竹山嘉次郎
原作 正典
脚本 山本嘉次郎
音楽 滝澤喜一
撮影 松竹映画
美術 松竹
衣装 天然色
色彩 天然色

六月十九日（金）八時、二十一日（土）九時半
六月二十日（日）九時半、二十二日（月）八時
六月二十三日（火）二十四日（水）両夜とも八時
六月二十四日（木）九時半

監督 竹山嘉次郎
原作 正典
脚本 山本嘉次郎
音楽 滝澤喜一
撮影 松竹映画
美術 松竹
衣装 天然色
色彩 天然色

六月十九日（金）八時、二十一日（土）九時半
六月二十日（日）九時半、二十二日（月）八時
六月二十三日（火）二十四日（水）両夜とも八時
六月二十四日（木）九時半

監督 竹山嘉次郎
原作 正典
脚本 山本嘉次郎
音楽 滝澤喜一
撮影 松竹映画
美術 松竹
衣装 天然色
色彩 天然色